

福島第一原子力発電所 サイトバンカ建屋内貯蔵プールの調査について

< 参 考 資 料 >
2021年2月18日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- サイトバンカ建屋内にある貯蔵プールについては、震災以前より高線量機器（制御棒、チャンネルボックス、フィルタ等）を保管する目的で使用されており、現在も震災以前の高線量機器を保管しております。
- 使用済燃料プール（以下SFP）にも高線量機器は保管されており、燃料取り出し後にSFP内から高線量機器を取り出す工法や搬出先の確保などを検討しております。
- 今回の調査は、震災後初めてとなるサイトバンカ建屋内貯蔵プールの調査であり、SFPからの高線量機器取り出しに向け、搬出先候補である当該建屋内貯蔵プールの健全性を確認するものです。
- 本日（2月18日）からサイトバンカ建屋内貯蔵プール水の浄化を開始し、2月16日から2月19日までJAEA 楯葉遠隔技術開発センターで水中ドローンの操作訓練を実施後、3月上旬より水中ドローンを用いて調査を実施してまいります。
- 本調査の結果を踏まえて、今後のSFP内高線量機器の輸送先としてサイトバンカ建屋内貯蔵プールが、適正であるか判断する予定としております。

【調査内容】

- ・ 水中ドローンによるプールライナー及び既存保管機器の状態確認
- ・ サイトバンカ貯蔵プール水の水質確認
- ・ ライナードレンからの漏えい有無確認（サイトバンカ建屋地下階）

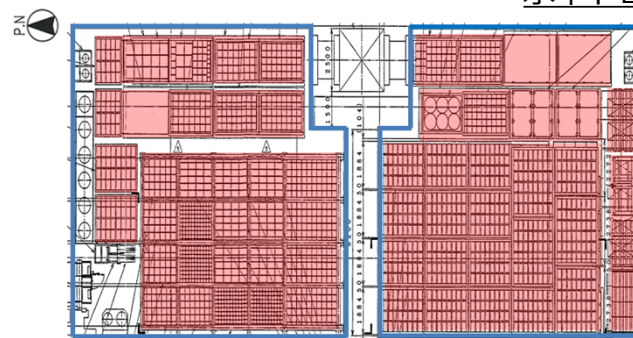


水中ドローン



【構内位置図】

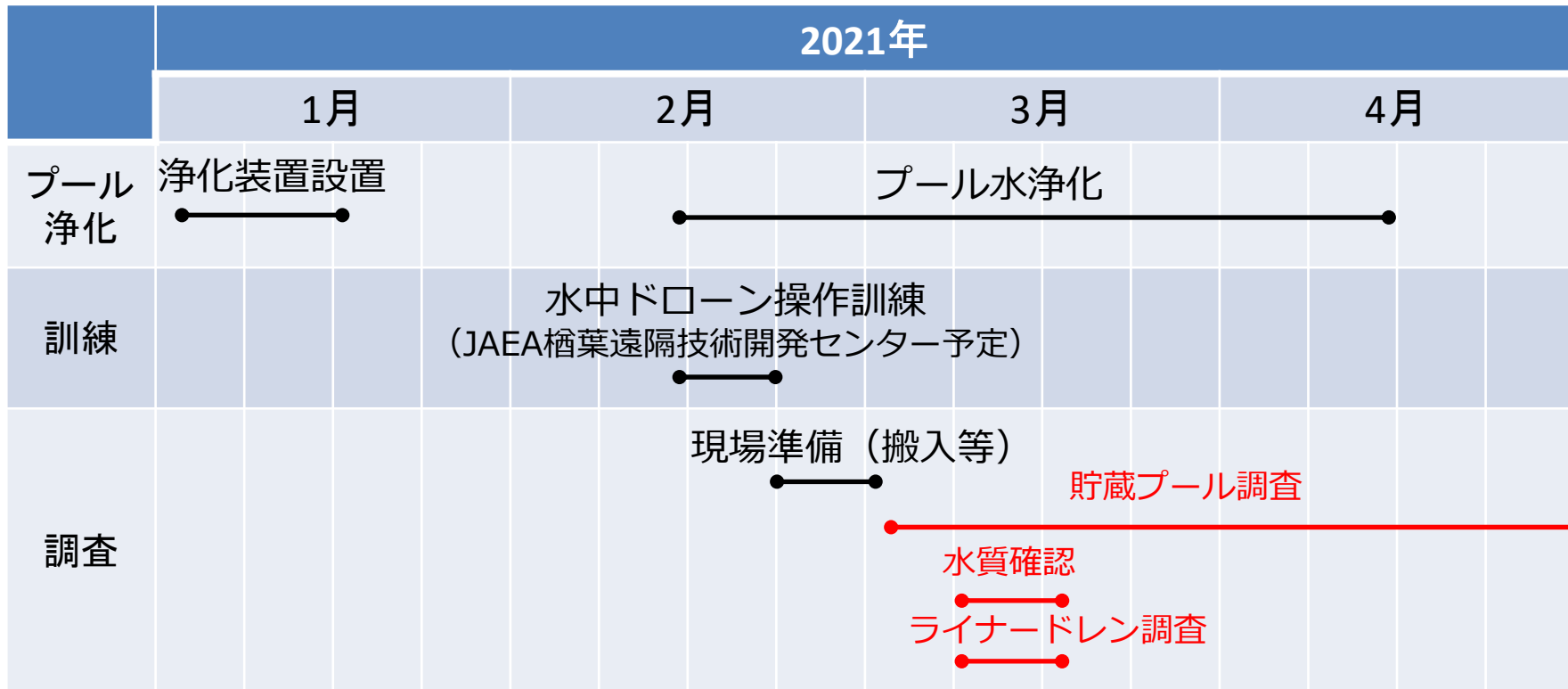
サイトバンカ建屋



【サイトバンカ建屋内貯蔵プール調査範囲】

— : プールライナー
■ : 既存保管機器

<参考> サイトバンカ貯蔵プール調査スケジュール



※上記スケジュールは、訓練や現場準備状況等により変更となる可能性あり